

草刈パワー 地区内外23人

挑戦 荒れ地をソバ畑に



耕作放棄された水田をソバ畑に蘇らせようと、「未来こい！ネット」農水部会が呼びかけ、7月4日、地区内外から集まった23名が金森町内で草刈作業を行った。

広島から参加した岩田幸信さんは「モリメイト倶楽部広島」の里山部会長。「楽しかった。次回は仲間を連れて来る」と語っていた。

草刈で汗をかいた後は垂水邸^{たるみ}に移動して、「和の会」の皆さんが用意したおにぎりや豚汁で疲れを癒やした。

大きな一歩

楽しくやってみて未来こい！



草刈隊結成の足掛かりとなるイベントとして企画した耕作放棄地復活プロジェクト。蕎麦を自らの手で栽培、収穫、蕎麦打ちも体験していただき、交流人口も作り出すという欲張った企画です。

「やってみよう！」精神で、4回の準備会議を経て、手さぐりで初回を迎えました。

当初は、このイベントに参加者が集まるだろうかと心配していましたが、部員合わせて23名の参加があり、半日で、目標以上の成果を挙げることができました。

協力いただいた地元への参加者、和の会の皆様の協力なしには成功はなかった、と感謝しております。また、ふるさと定住財団様のご協力で県外から2名の登録者があり、今回は広島からの参加者もありました。

今回は、危険作業もあり、大人の参加のみになりましたが、栽培体験、料理体験もできる企画になっていきますので、家族参加も含め、追加の募集をいたします。

今回の活動の様子は情報部会（原田洋一部長）がドローンで撮影してくれました。HP等で情報発信していただけることですので、登録者が増えることを期待しつつ、今後の活動の計画を皆さんと作っていきたいと思っています。

農水部長

常松 守男